

令和5年度  
事業報告書

自 令和 5年 4月 1日  
至 令和 6年 3月 31日

社会福祉法人 空知の風

## 目次

法人事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・	3 ページ
たのしいどう事業報告・・・・・・・・・・	16 ページ
きっちんどう事業報告・・・・・・・・・・	27 ページ
あかるいどう事業報告・・・・・・・・・・	35 ページ
わくわくどう事業報告・・・・・・・・・・	43 ページ
歩～夢 事業報告・・・・・・・・・・	51 ページ
楽らく事業報告・・・・・・・・・・	60 ページ

## 令和5年度 法人事業報告

◇はじめに

### ～令和5年度事業の総括～

令和5年度は、経営基盤の強化を掲げ、支援の質を向上して魅力を発信し、利用者の安定的な利用が向上するよう努め、支出を点検して経費の節減に取り組みました。

また、施設整備の面では、アパートタイプのグループホーム1か所を戸建てのグループホームに入れ替えました。また、毎年の積雪によって痛んでいた「たのしいどう」本館の屋根の修繕と「パン工房春いろ」の屋根および「きっちんどう」の屋根の塗装を行ないました。その他車両の入れ替えなど、経年によって痛んできた設備や備品の更新を随時行いました。

今後の施設整備を視野に入れ、「あかるいどう」の隣接の土地を2筆、「たのしいどう」の隣接の土地を2筆、それぞれ購入し法人の基本財産としました。施設の車両用の駐車場及び利用者の健康維持のためのスペースとして活用しております。将来的にはバリアフリーのグループホームの建設用地として計画をしていく予定です。

一方、市内や近郊での福祉事業者の増大や利用者の活発な移籍などにより利用者の在籍や利用はやや不安定な状況が続いています。また、職員確保にも苦心している面があり、こちらも変わらず課題となっています。次年度も引き続き、現利用者の満足度の向上や当法人の魅力を発信などに一層取り組む必要があります。

令和5年度の重点目標として掲げていた事項としては、

#### 1. 経営基盤の強化

- 利用者の支援の質を向上し、毎日楽しく、安心・安全・安定して利用していただけるよう取り組む。
- ホームページやSNSなどで事業所の魅力を発信する。
- 研修や学習の機会を設けて職員の資質を高め、支援内容を向上させる。
- 物価高騰への対応として、支出を見直して精査し、経費の節減を行なう。

#### 2. 支援作業種の再編

- 就労意欲・能力の高い方への新たな作業種の創設。
- 法人内の昼食提供を一手に担う新たな事業の創設。
- 支援度の高い方も活躍できる活動支援の強化。
- アート活動などの芸術分野の価値を高め、デザインとして商品化をする。

### 3. 施設設備の更新や修繕

- 住居の更新のために、新規の住居を整備して移行を行なう。
- 重度や高齢の方も暮らしやすい住環境の整備に向けて土地の取得や設計などの具体的な動きを行なう。
- 「たのしいどう」屋根の塗装工事を行なう。
- ぱん工房春いろ店舗の屋根の修繕を行なう。
- 「きっちんどう」屋根の修繕を行なう。
- そのほか各事業所建物の経年による劣化や損傷に対して、保険や自己財源で補修を行なう。

### 4. 各種行事や地域公益事業の実施

- 開催規模や内容、感染対策ガイドライン等を検討し、地域交流祭を開催する。
- 地域の活動への協力。
  - ・地域イベントへの協力。
  - ・除雪協力。
  - ・他の社会福祉法人や企業・団体との連携など。

以上の4つを掲げておりました。年間の総括としましては、

1つ目の**経営基盤の強化**については、就労事業の充実と、行事や外出企画などの余暇の楽しみを重視したメリハリのある取り組みで、楽しく継続して利用していただけるように努めました。また、法人の魅力の発信として SNS 担当部門を立ち上げ、年間の法人の活動を動画にまとめ、見学者などへ啓発を行ないました。

2つ目の**支援作業種の再編**については、それぞれの就労意欲にマッチした作業種の提案と、施設外就労に取り組みました。特に、法人内部の食事提供を行なう作業班の創設に向けては、既存の作業の整理と試算をして場所と時期、設備について検討を重ねています。また、働くことが主軸とならない方たちへもアート活動・創作活動を通じて、活動意欲が高まるように取り組みました。

3つ目の**施設設備の更新や修繕**については、一部のグループホームを構造や設備の新しい住居へ更新を行ないました。また、将来のバリアフリー住居整備用地として土地を取得しました。また、「たのしいどう」本館の屋根の修繕及び塗装、「ぱん工房春いろ」と「きっちんどう」の屋根の塗装をそれぞれ実施して、建物の保全を行ないました。

4つ目の**各種行事や地域公益事業の実施**については、4年ぶりとなる「地域交流祭」を開催しました。利用者や家族、また、多くの地域住民にご来場いただき、盛況に終えることができました。また、地域公益的活動として「子ども食堂 放課後レストラン」も4年ぶりに1度だけ開催をしました。コロナ感染症拡大防止の工夫を並行して、次年度以降も利用者の楽しみや地域との交流等に努めていきます。

## ■役員会運営

令和5年度は理事会を計7回開催しました。

開催された理事会では、理事及び監事の任期満了の改選を行ない、役員は全員留任し、理事長は橘文也理事長が再任され、常務理事は橘正樹常務理事が再任されました。

また、「あかるいどう」の近接土地の購入と「たのしいどう」の近接土地の購入について議決を行ない、購入手続きや基本財産に組み入れるための定款変更を行ないました。今後の施設建設用地となります。

任期途中で理事が一人退任することになり、速やかに後任候補者を選定し、理事定数を維持しております。

法人全体の事業として、コロナ禍により中断しておりました「地域交流祭」を4年ぶりに開催いたしました。利用者、地域住民、職員、役員がイベントを通して交流することができました。

その他の法人運営に係る理事会運営についても予算執行や各議案について活発かつ慎重な審議を行ない、事業運営を滞りなく実施する事が出来ました。なお、入札等の案件は発生しておりません。



地域交流祭の様子

評議員会は定時評議員会のほか土地購入に伴う定款変更の手続きのために開催した会議や退任した理事の後任の選任を含めて計4回の開催でした。

定時評議員会では、事業報告や決算の承認、福祉充実残額の計算結果の確認等が行なわれました。また、任期満了に伴う理事及び監事の改選を行ないました。

その他、前年取得した「あかるいどう」の近接地と「たのしいどう」の近接地を購入し、それに伴って、定款の基本財産の条項が加わるため、定款変更の議決をしています。任期途中で理事の退任があったため、理事会から提案のあった候補者を後任の理事として承認しました。

監事監査については、四半期毎に会計監査、運営監査を実施し、実務上の改善事項について助言を頂き理事会で報告をしていただいております。

その他、社会福祉法人会計に長けた会計士事務所による外部監査も継続しており、法令に基づいた適切な会計処理となるように点検を行なっています。

○理事会の開催状況について

	日時/会場	主な内容	出席状況	
			理事	監事
第1回 理事会	令和5年5月27日（土） 15時00分～17時00分 西部連合会館 大広間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度事業報告の承認</li> <li>・令和4年度決算の承認</li> <li>・土地購入に伴う定款の変更について承認</li> <li>・次期理事の候補者の選定</li> <li>・次期監事の候補者の選定</li> <li>・定時評議員会日程及び議案について</li> </ul>	6	2
第2回 理事会	令和5年6月17日（土） 16時00分～16時30分 西部連合会館 大広間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長の選任</li> <li>・常務理事の選任</li> </ul>	5	2
第3回 理事会	令和5年9月28日 書面による決議の省略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「たのしいどう」近接土地の購入承認</li> <li>・土地購入に伴う定款の変更について承認</li> </ul>	6	2
第4回 理事会	令和5年10月31日 書面による決議の省略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「たのしいどう」近接土地の購入承認</li> <li>・土地購入に伴う定款の変更について承認</li> </ul>	6	2
第5回 理事会	令和5年12月15日（金） 16時00分～17時30分 岩見沢平安閣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補正予算の承認</li> <li>・人財の確保や育成、福祉の魅力発信について</li> </ul>	5	2
第6回 理事会	令和6年3月4日 書面による決議の省略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退任理事の後任候補者の選定</li> </ul>	6	2
第7回 理事会	令和6年3月15日（金） 15時00分～17時00分 西部連合会館 大広間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補正予算の承認</li> <li>・事業の変更及び再編計画について承認</li> <li>・令和6年度事業計画の承認</li> <li>・令和6年度予算の承認</li> <li>・施設長の選任</li> <li>・給与規程の変更の承認</li> </ul>	6	2

○評議員会の開催状況について

	日時/会場	主な内容	出席状況		
			評議員	理事	監事
定時	令和5年6月17日（土） 14時00分～15時50分 西部連合会館 大広間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和4年度決算の承認</li> <li>・ 令和4年度福祉充実残額の計算の承認</li> <li>・ 決算監事監査報告</li> <li>・ 定款の変更について承認</li> <li>・ 次期理事の選任</li> <li>・ 次期監事の承認</li> </ul>	7	4	2
第2回	令和5年9月28日 書面による決議の省略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土地取得に係る定款の変更について承認</li> </ul>	8	—	—
第3回	令和5年11月2日 書面による決議の省略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土地取得に係る定款の変更について承認</li> </ul>	8	—	—
第4回	令和6年3月8日 書面による決議の省略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 退任理事の後任の選任</li> </ul>	8	—	—



■ 監査等の状況について

○ 監事監査の実施状況について

	日時	対象期間	担当監事	
			業務	会計
令和4年度第4期	令和5年5月17日	令和5年1月1日から令和5年3月31日	網淵 監事	小嶋 監事
令和4年度 決算	令和5年5月17日	令和4年4月1日から令和5年3月31日	網淵 監事	小嶋 監事
令和5年度第1期	令和5年8月23日	令和5年4月1日から令和5年6月30日	網淵 監事	小嶋 監事
令和4年度第2期	令和5年11月7日	令和5年7月1日から令和5年9月30日	網淵 監事	小嶋 監事
令和4年度第3期	令和6年2月16日	令和5年10月1日から令和5年12月31日	網淵 監事	小嶋 監事

○ 外部監査の実施状況について（よつば会計事務所）

	日時	対象期間	内容
第1回	令和5年4月15日（土） 9時30分～18時00分	令和4年4月1日から令和5年3月31日	令和4年度決算書 および明細書確認
第2回	令和5年5月13日（土） 10時00分～17時30分	令和4年4月1日から令和5年3月31日	令和4年度決算書 および明細書確認
第3回	令和4年7月20日（木） 10時00分～17時15分	令和5年4月1日から令和5年6月30日	各科目残高確認 収支状況の確認
第4回	令和4年10月20日（金） 10時00分～16時45分	令和5年7月1日から令和5年9月30日	各科目残高確認 収支状況の確認
第5回	令和5年1月23日（火） 10時00分～17時20分	令和5年10月1日から令和5年12月31日	各科目残高確認 収支状況の確認

■ 施設整備等について

「あかるいどう」の隣接の土地を2筆、「たのしいどう」の隣接の土地を2筆それぞれ購入しました。現状は駐車場や、利用者の運動のためのスペースとしておりますが、将来的にはグループホームの建設用地として使用する予定です。

建物設備整備としては、新規のグループホームを開設するにあたり、中古の一軒家を賃貸して、リフォームの整備を行なっています。また、就労事業で材料や製品の保管に使っていた大型のプレハブ冷凍庫が経年によって故障したため、設備を購入しています。

車両については、「たのしいどう」と「歩～夢」でそれぞれ1台中古車両を購入しています。

◇土地の購入

①岩見沢市 10 条西 4 丁目 11 番 264 m<sup>2</sup>

②岩見沢市 10 条西 4 丁目 14 番 49 m<sup>2</sup>

合計 313 m<sup>2</sup> 2,500,000 円 (仲介：イエステーション)

③岩見沢市 6 条西 11 丁目 2 番 2

335.53 m<sup>2</sup> 6,500,000 円 (ホクトホーム)

④岩見沢市 6 条西 10 丁目 2 番 28

115.70 m<sup>2</sup> 2,274,350 円 (木村直樹会計事務所)

◇建物設備整備

①新規GH「波のり荘」開設に係る整備事業

○賃貸契約 100,000 円/月

○耐火ボード等室内耐火工事 (山本建業株式会社)  
1,155,000 円

○消防設備および電気設備工事 (株式会社中島エレキ)  
1,529,000 円



②「たのしいどう」作業室のプレハブ冷凍庫

設置業者 ホシザキ北海道株式会社 1,713,600 円

③新規GH「ゆめばえ荘」開設に係る整備事業

○賃貸契約 100,000 円/月

○改修工事一式及び消防設備設置工事 (株式会社 N3 ライフ)  
1,826,000 円



◇車両の入れ替え整備

①たのしいどう (中古車) の整備

導入車種：トヨタ フィールダー (平成 28 年式)  
価格 1,100,000 円



②歩～夢 (中古車) の整備

導入車種：トヨタ シエンタ (平成 26 年式)  
価格 1,000,000 円



■事故報告の状況について

□利用者さんに係る事故

- ①グループホーム利用者の行方不明による捜索 2件  
(当日中に無事発見)

□車両による事故件数

- ①接触事故 2件  
(店舗看板基礎への接触、車同士の接触 けが人なし)

■行事の実施状況について

新型コロナウイルス感染症が5類になり、制限が緩和されたことから、徐々に全体で集まる行事を開催することができました。多くが4年ぶりに開催することになるため、事故の無いように規模や時間をやや縮小し、感染対策も並行して行ないました。特に法人の最大のイベントである「地域交流祭」については、4年ぶりにもかかわらず、多くの地域住民が来場し、ステージイベントや飲食物は盛況となりました

日 時	行 事 名
令和5年 4月 1日	事業開始式(事業単位)
令和5年 7月 9日	地域交流祭
令和5年 10月~11月	おたのしみ小旅行(事業単位) 日帰り・1泊など選択制
令和5年 12月 23日	利用者忘年会(全体行事)
令和6年 1月 22日	はたちのお祝い



■ 各行事の様子



事業開始式



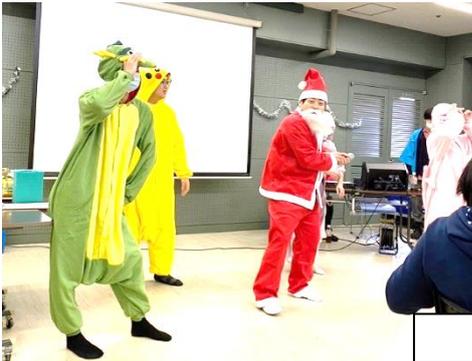
地域交流祭



おたのしみ小旅行



おたのしみ小旅行



利用者忘年会



はたちのお祝い

■ 渉外活動（令和5年度）

渉外活動	職名	氏名
空知知的しょうがい福祉協会	理事	松田 愁司
	代表者	TD 竹治・KD 横田 AD 倉増・WD 橋 HM 松田
	幹事	中山拓哉・畠山貴裕
・岩見沢市障がい者福祉施策懇話会 ・岩見沢市障がい者サポート協議会	委員	橋 正樹
全国社会就労センター協議会 事業振興委員会	委員	横田 雅之
北海道社会就労センター協議会 事業振興委員会	委員	横田 雅之

■ 苦情解決委員会および虐待防止委員会について

令和5年度の苦情体制

- ・たのしいどう（受付担当者：山本 美加）（第3者委員：小松 大記）
- ・きっちんどう（受付担当者：木村 清子）（第3者委員：小嶋 孝之）
- ・あかるいどう（受付担当者：畠山 貴裕）（第3者委員：小嶋 孝之）
- ・わくわくどう（受付担当者：成田 純一）（第3者委員：藤田 雅子）
- ・歩 ～ 夢（受付担当者：石郷岡晴美）（第3者委員：藤田 雅子）
- ・権利擁護委員会 担当：成田 純一

令和5年度の第三者委員も交えた年度の総括会議については、前年に引き続き、集合しての会議を行わずに書面による会議といたしました。年間の苦情受付の状況や虐待防止の取組みなどについて概要を書面で報告し、第3者委員からご意見をいただきまとめています。

○ 苦情解決委員会の開催状況について

	日時/会場	主な内容	出席状況		
			管理者	受付担当者	第3者委員
令和5年度 総括	書面による概要説明を郵送し、各委員より書面で意見を集約した	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度各事業所の苦情受付状況報告(書面)</li> <li>・第三者委員からの意見(書面)</li> <li>・令和6年度苦情解決体制の確認</li> <li>・権利擁護、虐待防止に向けて</li> <li>・身体拘束適正委員活動について</li> </ul>			

## ■職員研修について

研修計画に則り、内部研修および外部への研修を行なっております。

	日時	研修内容	講師
第1回	令和5年8月26日（土）	「自閉症の支援について」	ハローENJOY札幌Ⅱ 寺尾 孝士 氏
第2回	令和5年10月21日（土）	「インボイス制度について」	よつば会計事務所 岡田 光次郎 氏
第3回	令和5年10月21日（土）	「権利擁護フィードバック研修」	権利擁護委員会 石郷岡・中山
第4回	令和5年11月25日（土）	「感染症の対応について」	歩〜夢課長 廣岡 理絵
第5回	令和6年3月23日（土）	「令和6年度基本方針・事業計画等」	橘常務理事



## ■地域公益的活動について

法人の地域公益的な活動については、岩見沢市主催の河川敷清掃イベントへの参加、町内会の子供盆踊りの出店参加、赤い羽根共同募金活動、子ども食堂の開催などを行ないました。子ども食堂については、市内の高校生のボランティアとも共同しております。次年度についても地域公益活動の充実を図って実施して参ります。



■利用者現況調べ（令和6年3月31日現在）

① 年齢構成（単位：人）

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	合計人数
男性	0	18	23	14	2	3	0	60
女性	0	13	15	9	2	1	0	40
総数	0	31	38	23	4	4	0	100

平均年齢：男性 35.9歳、女性 35.3歳、全体 35.7歳

②障害支援区分

	なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均区分
男性	15	1	11	13	12	7	1	3.36
女性	5	1	4	5	10	10	5	4.11
総数	20	2	15	18	22	17	6	3.69

■工賃の支払い状況（単位：円）

①工賃支給比率

事業名	資金収入額(円)	工賃総額(円)	のべ支給人数(人)	支払比率
たのしいどう	18,574,545	8,485,100	441人	45.7%
きっちんどう	23,636,291	7,413,400	246人	31.4%
あかるいどう	583,381	475,900	247人	81.6%
わくわくどう	15,010,760	5,407,100	168人	36.0%
全事業合計	57,804,977	21,781,500	1102人	37.7%

②利用者工賃額

事業名	工賃総額(円)	のべ支給人数	平均工賃額	うちB型のべ 工賃支給人数	うちB型事業平均
たのしいどう	8,485,100	441人	22,809	249人	29,203
きっちんどう	7,413,400	246人	36,772	192人	38,565
あかるいどう	475,900	247人	2,479		
わくわくどう	5,407,100	168人	37,239	168人	37,239
全事業合計	21,781,500	1102人	24,825	609人	35,002

## 令和5年度 たのしいどう 事業報告

### 1. 令和5年度事業の総括

令和5年度は、コロナウイルスの影響により、生活スタイルや環境の変化により、我慢や制限をされてきた利用者さんの楽しみを少しでも増やせたらと職員が様々な企画を考え、実施してきました。行事での食事メニューの選択、月1回のお楽しみ行事として、5月～9月まで、ランチバイキングやパン教室、駐車場にて焼き肉パーティーなどを行なっています。外で実施した焼き肉では、テント張りや席の用意など、準備段階から利用者さんと一緒に行ない、汗を流しながら美味しいお肉を食べることが出来、沢山の笑顔を見ることが出来ました。楽しみが増えることにより、利用者さんの利用率にも繋がり、作業や活動への参加も増えることが出来ています。生産活動の収入では、新たな取り組みへの挑戦や、製造班での新規の取引先も増えています。しかし、下請作業では、順調に進めていた箱折りの作業も、取引先の食品事故に伴い、受注が突然止まり、利用者さんの作業が無くなる等、見通せないこともありました。一つずつの仕事を丁寧に取り組む事を大切にすることで、積み重ねは大きな成果や達成感、仕事に対するやり甲斐、工賃へと繋がっています。気持ちの満足度を高め、次に繋がる意欲や目標となり、事業班毎の連携が、色んな困難も乗り越えられた1年になったと実感しています。利用者さんの様々な発見や課題も出てきており、一つずつ整理し、一緒に考えながら乗り越え、成長しています。

中学生の体験実習や専門学校など、施設実習の依頼も増えてきています。外出行事や法人全体で集まる機会も、少しずつ増やすことが出来ています。体験すること、人と関わる機会が増えたことは、利用者さんにとって、職員にとっても嬉しく、笑顔も増え、刺激ある日常になれた1年であったと感じています。

### 2. 実施事業

■ 就労継続支援事業B型	定員 25名	現員 20名
■ 生活介護事業	定員 15名	現員 16名
■ 短期入所事業	定員 2名/日	

### 3. 令和5年度の利用状況

#### ■たのしいどう全体（定員40名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	利用率
実人数	37	37	37	37	37	37	37	37	36	36	36	36	37	78.3%
開所 日数	24	24	26	25	24	24	25	24	24	23	23	25	291	
延利用 回数	773	768	794	795	786	780	796	754	734	704	708	723	9,115	

平均実利用数 31.4名（小数点第2位以下切り上げ）

12月末に1名家庭の事情で引っ越しをされたため、1名退所しています。  
また、現員数が、定員数に満たしていないため、利用率は低くなっています。

#### ■就労継続支援事業B型（定員25名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	利用率
実人数	21	21	21	21	21	21	21	21	20	20	20	20	21	71.2%
開所 日数	24	24	26	25	24	24	25	24	24	23	23	25	291	
延利用 回数	448	440	456	456	446	444	449	425	409	390	398	413	5,174	

平均実利用数 17.8名（小数点第2位以下切り上げ）

12月末に1名家庭の事情で引っ越しをされたため、1名退所しています。

#### ■生活介護事業（定員15名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	利用率
実人数	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	90.2%
開所 日数	24	24	26	25	24	24	25	24	24	23	23	25	291	
延利用 回数	325	328	338	339	340	336	347	329	325	314	310	310	3,941	

平均実利用数 13.6名（小数点第2位以下切り上げ）

#### ■短期入所事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延利用 回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

今年度は短期入所事業の利用はありませんでした。

#### 4. 取組みの概要

□事業所内での生産活動（取り組みの詳細は就労事業報告参照）

- ・パンと菓子の製造販売

～パン工房では、季節に合わせた期間限定商品のパンや焼き菓子等の他にも、利用者さんの考案した新商品の販売にも力を入れ、一人ずつの作る楽しさを増やしています。新たな取引先として、セキスイハイム工業様や郵便局の無人販売、札幌のハンバーガーショップへパンの冷凍発送などが増え、少しずつではありますが、売り上げへと繋がっています。また、イベントに合わせた特注パンを製造するなど、人との繋がりや縁により、春いろの商品を紹介できる機会も増えていきます。「日本農福連携協会」との繋がりにより、9月に札幌駅地下歩行空間にて開催された「農福マルシェ」にも参加する機会を頂いております。1日限定として、地産地消の新たな商品を開発し、空知の魅力を発信しています。

- ・利用者昼食、グループホーム食事製造委託作業

～利用者さんの食べたい物リクエストに応じながら、季節に応じた旬の食材を使用し、栄養バランスを考えたメニュー作りに努めています。月1回のお楽しみ行事で開催した、「ランチバイキング」では、ご飯、麺、おかずなどの製造を担っています。イベント毎や季節の旬に合わせたデザートも手作りし、利用者さんの食事の楽しさをより増やせるよう工夫しています。献立表をみて、通所する楽しみの一つとして、昼食が関わられるよう、今後も食の充実、満足度を高められる様、心掛けていきたいと思っております。

- ・紙工芸品と受注作業

～しめ飾り製造に重点を置いた紙工芸品作りでは、季節に応じた作品も増やし、利用者さんの技術向上と作る楽しさを増やしています。一つずつ丁寧に商品を作り上げることで、様々な人に評価頂き、利用者さんの頑張りを発信出来る機会が来ています。受注業務では、箱折や町内の公園清掃、カレンダー巻き、ろうあ協会よりの依頼により、記念品のマグネット製作を行なっています。また、今年度初めて、空知振興局からの紹介で、農協と連携し、5月～9月まで、週1回ひまわりの出荷用箱折り作業にも取り組んでいます。農協の倉庫に出向き、作業を行なうことは、利用者さんにとって緊張感ある、刺激ある作業の機会を頂いております。ウエス製造も、定期的に注文を頂ける顧客も増え、売上へと繋がっています。一人ずつが担える、得意とする工程を細分化する事で、皆の力が集結し、様々な作業も達成する事が出来ています。

□やりがいや楽しさを創出する活動

- ・作業活動のほか、かるたゲームやトランプゲーム、季節に応じた制作、映画鑑賞等、様々な余暇支援を行なっています。曜日毎に、作業と活動の時

間を区切り、活動を通して、体の休息と心の休息も行ないながら、日々楽しんで頂けるような取り組みを大切に進めています。

#### ■権利擁護

利用者さんの障がい特性や年齢も様々であり、利用者さん同士の間関係など、日々の細かな対応が求められる中では、スタッフ朝会、会議時のケース報告で日々話し合う事を積み重ねました。限られた時間の中で答えが出るものとそうでないものがありますが、支援上の課題を共有することや情報共有の機会にもなっています。

#### ■苦情解決

今年度の苦情・要望受付は0件でした。親御さんからの苦情で、直接口頭による説明と文章による説明で対応させて頂いております。相談受付箱に投函された苦情や要望はありませんでしたが、利用者さんが抱える不安や悩みを日々聞き取り、話しをする機会を設けています。少しでも、利用者さん一人ずつが過ごしやすく、通いやすい環境を整え、職員がすぐに相談、解決へと応じられる支援が出来ればと考えています。

#### ■感染症対策

食品の製造販売を行なっていることから例年実施している利用者及び職員の全員が毎月、検便検査を実施しています。体調不良者は、厨房に入らない（持ち込まない）を徹底し、利用者さんの体調管理と共に衛生面の確保に変わらず配慮しました。昨年に引き続き、新型コロナウイルスの対策も重点的に行なっています。毎朝の検温、館内の消毒等も定期的に時間を決めて対応を行ない予防に努めました。ご家族とも連絡を取り合い、健康状況の変化の把握、発熱時の通所判断の検討や早退などを、ご家庭にも協力を頂きながら進めています。実施機関の福祉課とも連携し、感染予防に必要な在宅支援での対応を承認してもらうなどの調整も、今年度も継続して進めています。

#### ■災害対応・事故対策

昨年度の避難訓練は、感染症対策の観点から、自主訓練のみで実施しておりました。今年度は、1年ぶりに消防立ち合いのもと、火災を想定した通報、避難までの訓練を全員で行ない、利用者さんと職員の消火訓練も実施することが出来ています。2回目の訓練は、地震を想定した自主訓練を利用者さんと職員のみで実施しています。地震や火災発生時の注意点や、避難経路、避難口の判断、優先順位などを利用者さんへお話ししています。常に動きを

想定、イメージすることの大切さを改めて再認識し、避難の対応について、学ぶ機会となりました。

#### ■年間行事

年度内に実施した法人事業所合同の行事に関しては法人の事業報告参照。

#### ■諸会議

- ・法人全体会議・・・定例で月1回実施。会議はオンライン会議にて実施。
- ・個別支援計画策定会議・・・個別支援計画作成時に1ケースごとに実施。計画原案をもとに支援内容等について検討しました。利用者さんにわかり易く提示できるようにスタッフで議論しています。
- ・ケース会議・・・その日にあったケースを各担当から報告し、必要に応じて事例検討を行ない、支援方針を立案しています。

#### ■健康管理

今年度は、新型コロナ感染状況を踏まえながら、7月に実施しています。

#### ■工賃支払い状況

就労継続支援事業B型

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数	21	21	21	21	21	21
総支給額	444,900	390,300	378,100	458,800	395,900	384,100
平均額	21,186	18,586	18,005	21,848	18,852	18,290

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	21	21	21	20	20	20	249
総支給額	427,200	389,500	957,600	404,000	347,100	1,260,200	6,237,700
平均額	20,343	18,548	45,600	20,200	17,355	63,010	<b>29,203</b>

□生活介護事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数	16	16	16	16	16	16
総支給額	196,300	162,900	153,700	192,200	167,400	161,800
平均額	12,269	10,181	9,606	12,013	10,463	10,113

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	16	16	16	16	16	16	192
総支給額	174,700	164,800	300,600	165,600	146,500	260,900	2,247,400
平均額	10,919	10,300	18,788	10,350	9,156	16,306	<b>14,406</b>

□事業所全体の平均工賃額 ¥ 22,809/月 (36名)

5. 課題

今年度は、新しく取引を始めたところが増えた半面、急に作業が止まってしまふ、予想できないことも続けてありました。材料費や資材の高騰、水道光熱費の値上げなど、支出がより増えたことで、工賃の確保が難しく、課題となった1年となりました。今後も、社会情勢に応じて、商品の値段見直し、下請業務の価格交渉等、より工賃に繋がるような取り組みを行なう必要があると感じています。小さな結果も積み重ねにより、成果は出てきますので、今後も何事も継続、維持していきたいと考えています。利用者さんが、自分の役割に自信を持ち、安心して通える居場所作りも大切に、楽しみや達成感が感じられるような支援を今後も強化していきたいと考えています。

## 就労事業の報告

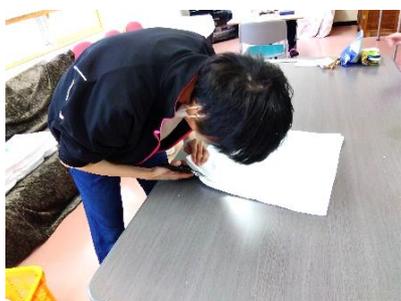
### ■事業班名：レインボー&クリアー

#### 1. 取組みの概要

クイリング製法で作成したしめ飾り、季節やイベントに合わせた製品作製とウエス製造へと取組む「レインボー班」、企業や仲間の施設から請負う様々な下請作業、地域の公園清掃委託へと取組む「クリアー班」の二つに分かれて活動を行ないました。

「レインボー班」のしめ飾り作りでは、毎年パーツのデザインを皆で意見を出し合いながら変更し、見て楽しめる製品作りを目指しています。

ウエス製造も、継続的に注文を頂く顧客も出来、定期購入へと繋げる事も出来ました。



ウエスの裁断



クイリング製造



「クリアー班」では、お弁当の箱折りの委託を請け、数種類の工程を進めています。また、仲間の施設からもリストバンドカット作業や、ハンドタオルの封入作業の委託も受け、皆で確認を行ないながら納品を行なっています。

全道ろうあ者大会が岩見沢市で9月に開催され、記念品の製造委託を受け、岩見沢に関連のある玉ねぎのキャラクターやバラの写真が載った、マグネット製品作りにも取り組みました。毎年委託を受けている公園清掃では、昨年同様、空知の風のロゴ入りジャンパーを着て、4つの地域の公園清掃に取り組みました。また、農福連携の取り組みで、岩見沢農協様からの依頼で、ひまわりの箱折り作業を栗沢の倉庫まで出向き、数名の利用者さんが数カ月週1回取り組む試みもしています。今年度は、多種多様な作業内容を皆で分担しながら取り組む事が出来ました。



記念品マグネット製作



ひまわり箱折り



ハンドタオル袋詰

## 2. 成果

今年度は、多種多様な作業委託が多くあり、様々な環境での作業や取り組みが、自信や意欲に繋がったと感じています。従来からのクイリング製法での製品作りを得意として進める方や、ウエスの裁断やごみ取りに安定して取り組む方、それぞれ得意な事や、新たな挑戦をしたいという意欲が高まり、作業へと取り組む事が出来ていたと感じています。作業の工程に携わることが難しい利用者さんに対しては、パズルやメモ帳作り、貼り絵等、一人ひとりが落ち着いて取り組める内容を提示し、活動の一環として取り組みました。

## 3. 課題

企業や顧客に不利益にならない様、事業を進めることが大事だと感じています。しかし、下請作業では、継続した作業や、単発的な作業もあり、流れに乗るまでには時間を要する方や、不安になる方もいて、利用者さんが取り組みやすい環境設備や支援が必要と感じています。心身の安定により、作業の進み具合や周りへの影響もある為、一人ひとり落ち着いて過ごせる様、個々に合った必要な支援を行なっていこうと思います。

### ■事業班名：ぱん工房春いろ

#### 1. 取組みの概要

新型コロナの影響が緩和され、色々なイベントの再開や、新たに飲食店をオープンするところも増え、納品先や販売先の依頼も増えています。店舗の新商品開発にも力を入れ、皆で意見を出し合いながら様々な試作を繰り返し行ない、商品化する機会も増えています。冷凍発送可能な、コーヒー味のロールケーキを新商品としても考案し、商品化に向けて、日々試作を重ねています。

また、夏のお中元やクリスマス等、期間限定のギフトや商品も利用者さんのご家庭に紹介させて頂き、ご協力頂いております。仲間の事業所からも、クリスマスケーキや菓子セット等、様々なイベントに合わせて受注が入り、売上にも繋がっています。パンやロールケーキも道内、道外の事業所から、定期的に注文を頂き、冷凍発送も継続しています。

今年度は、岩見沢郵便局様より無人販売の依頼があり、9月より契約を済ませ、無人販売を行なっています。その他にも、札幌のハンバーガー店よりパンの受注を受け、定期的に冷凍発送したり、単発ではありましたが、札幌の移動販売のお店より、クロワッサンの大量注文があり、冷凍発送しています。



イベント商品



キタノカオリ食パン



郵便局無人販売

## 2. 成果

新商品の入れ替え等により、店舗のパンの売上が伸びています。春いろイチオシの商品である、キタノカオリ食パンのリピーターも増え、市外からも春いろの食パンを購入しに来ていただけるお客様もいます。利用者さんのご家族の好意により、友人知人へと宣伝して頂き、定期的に注文を取りまとめて頂く等の協力もあり、積み重なる売上が春いろの支えともなっています。また、毎年、月形小学校の卒業式、入学式等の菓子セットのご注文があり、好評頂いております。また、新たな保育園や養護学校からの注文の依頼があり、4月より納品予定となっております。色んな方との縁により、納品先も増える事が出来ています。利用者さん考案のパンも年々増え、試作を重ねています。商品化されることは、利用者さんの自信や楽しみにも繋がっています。

## 3. 課題

食品表示法やHACCPの取り組みも日々進めています。法律を正しく理解し、誰もがきちんと知識を身に付け、取り組んでいくことへの難しさを感じています。また、インボイス制度が導入され、同制度の要件を満たせるように、また適格請求書などの知識も身に付けられるよう学んでいくことも必要と感じています。1つの製品として、安全にお客様へ届けられているか等、適切なチェック体制作りが、今後もととても大切だと感じています。原材料や資材、原油の高騰により、商品の価格や規格の見直し等も行なっています。また、新たな納品先の開拓も目指しながら、現在注文頂いている納品先を大切に、売上増を目指していけたらと思います。少しでも利用者さんに工賃還元出来る様、チームで協力しながら、売上へと繋げていけるよう、努力していきたいと思えます。

## ■事業班名：さんくつく

### 1. 取組みの概要

さんくつくでは、たのしいどうへ通所されている方の昼食製造作業の他に、グループホームの朝食製造と食材の検品作業を行なっています。昼食製造では、利用者さんに喜んで頂ける献立を取り入れながら、バランスや季節感も考慮し、食への関心が高まることを目指しています。グループホームの朝食・夕食製造では、作った料理を食数に合わせて計量し、正確に分けるよう心掛けています。また、衛生管理に気を付けながら、安心して食べて頂けるよう、食品の管理や製造を皆で協力しながら、取り組んでいます。



作業風景



利用者さんリクエスト  
ケバブ風サンド



たのしいどうお楽しみ行事  
バイキング

### 2. 成果

昼食製造では、利用者さんのリクエストに応じたメニューや、手作りデザートを取り入れる事で、作る利用者さんの楽しみも意識して取り組んでいます。毎月1回のお楽しみメニューでは、利用者さんのリクエストされたメニューを取り入れ、楽しみながら食事が出来るように心掛けています。月1回のお楽しみ行事では、利用者さんが喜んで頂ける行事をたのしいどう内で考え、バーベキューやバイキング形式での昼食提供、お料理教室などの食材準備をさんくつくで行ないました。利用者さんも大変喜ばれています。献立立案時には、手作り出来るメニューを取り入れる事で、利用者さんの作業工程の細分化が出来るようにしています。食材購入時にも、野菜や主菜となるコロケなどは、既製品を購入せず、一つずつ手作りする事で、利用者さんの作業スキルの向上や様々な作業経験を重ねられる機会にもなっています。作業の中では、利用者さんのペアリングに考慮し、作業場所を2か所に活用することで、働きやすい環境の配慮や時間の工夫等も行なっています。また、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の記録は引き続き行ない、気になったことは記載し、より改善へと繋がる様な取り組みも行なっています。

### 3. 課題

衛生管理の面で、利用者さんへの声掛けや確認は、今後もより強化していく必要があると感じています。手袋の破片が料理に入ることが続くなど、今までの方法ではなかなか改善が見られない場合は、その都度方法を変更していく必要があると感じています。献立によって、利用者さんの1日の流れも変化してくるため、作業が確保出来るような仕込みの量や作業工程、献立のバランスを考え、組み合わせの工夫や支援が今後も大切だと考えています。より利用者さんの調理技術が高まり、色々な経験が重ねていける様、今後も取り組んでいきたいと思えます。

#### ■データ (たのしいどう)

1. 製造販売事業	売上 1 7 9 1 万円	工賃還元額	7 8 9 万円
2. 下請加工事業	売上 6 4 万円	工賃還元額	5 9 万円

## 令和5年度 きっちんどう 事業報告

### 1. 令和5年度事業の総括

令和5年度は、昨年度まで生活や活動に多くの規制を強いた新型コロナウイルス感染症の類型移行により、コロナ前の生活へと戻していくことができるか、模索する1年となりました。類型が移行したとはいえ、菌が消滅しわけではないので、ウィズコロナとして、今年度の事業を進めています。

また、事業で使用している建物や機器において補修等の手入れが必要な時期にも入ってきており、屋根の塗装や館内の電気取替などハード面での修繕を行ないました。

就労事業の製造販売事業の弁当製造販売では、ここ数年の大口受注なしの流れは大きく変わらず、毎日ご利用いただける顧客を中心に製造販売を進めました。合わせて法人内部の利用者さんの食事提供は、利用者さんに安定した仕事を提供することができ、ベースに販路を持っていることの強みを実感した1年でした。

利用者さんが楽しみにしている行事では、4年ぶりに地域交流祭も開催でき、事業所ごとの行事も行ない、中には少し遠方へ宿泊を含んだ旅行を久しぶりに実施することができ、利用者さんも大変楽しんでもらうことができています。

### 2. 実施事業

- 就労継続支援事業B型                      定員 14名      現員 16名
- 生活介護事業                                  定員 6名      現員 5名

### 3. 令和5年度の利用状況

■ きっちんどう全体（定員20名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	利用率
実人数	21	21	21	21	21	20	20	20	20	20	20	21	21	84.3%
開所日数	24	24	26	25	24	24	25	24	24	23	23	25	291	
延利用回数	426	437	442	434	419	400	429	393	388	368	371	397	4,904	

平均実利用数 16.9名（小数点第2位以下切り上げ）

■就労継続支援事業B型（定員14名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	利用率
実人数	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	17	16	93.0%
開所日数	24	24	26	25	24	24	25	24	24	23	23	25	291	
延利用回数	322	329	338	326	326	316	339	310	300	282	289	311	3,788	

平均利用数 13.1名（少数点第2位以下切り上げ）

4月より利用者の異動による増減はありません。

■生活介護事業（定員6名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	利用率
実人数	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	5	64.0%
開所日数	24	24	26	25	24	24	25	24	24	23	23	25	291	
延利用回数	104	108	104	108	94	84	90	83	88	86	82	86	1117	

平均利用数 3.9名（少数点第2位以下切り上げ）

8月中旬から1名が退所され、1名減員となっています。

4. 取り組みの概要

□事業所内の生産活動

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が感染法上の分類が5類となり、これまでのような規制が自主規制といった柔らかい規制に変化し、お弁当事業でも以前の大皿事業のお客様からも少しずつ問い合わせを承ることが戻ってきました。しかし、これまでのコロナ禍で大皿に頼らない受注方法にシフトしていたので、つながりの強い依頼先のみ対応し、生産量が多く製造を圧迫する注文に関しては、他事業所との共同受注を行ったり、事前に日程が調整できる問い合わせについては通常の製造を止めるなどして対応に当たり、皆で製造に取り組みました。

コロナと並行してウクライナ情勢が不安定になり、原油の高騰から燃料、資材、食材と物価高騰が始まり、きっちんどうも大きな影響を受けています。この情勢の中で戸外へ弁当販売に出て売上の確保・向上を進めるより、法人内の利用者に向け、食事提供を行なう事業を充実させた方が、限られた人材の中で充実した活動支援を行なえと考え、弁当事業については、今年度で終了することとしています。食事提供事業は継続するため、館内の設備の整理を進めています。

## ■権利擁護

権利擁護・苦情解決委員会の活動としては、年度初めに北海道知的障がい福祉協会にて行なわれている「人権侵害ゼロの誓い」の署名を実施。併せて日本知的障害者福祉協会の倫理綱領をスタッフで読み合わせも実施。今年度も例年のように委員会を対面で行なう機会を持たず、書面での情報共有やオンラインの職員会議などで「権利擁護」について取り上げています。また、事業所内でガイドブックを使用しながらパート職員を含め、小単位で権利擁護について、周知を行ない情報の共有を進めました。特に新しい職員に対しては知的に障がいのある方を支援するための行動規範や、特性による個別な関わり方については個別対応して伝えています。

## ■苦情解決

苦情受付については、令和5年度0件となっています。

苦情として受け付けたものはあがってきませんでしたが、日々の利用者同士のトラブルや対人関係の悩みなど利用者からの相談を受け付け、その場で対応しています。利用者からの苦情に繋がる相談段階の話にしっかり耳を傾け、今後も支援を行なっていきます。

## ■感染症対策

食品の製造販売を行なっていることから利用者及び職員の全員が毎月、検便検査を実施しています。毎月行っている検査から食中毒を起因するような保菌者はいませんでした。

新型コロナウイルスでは、医師の診断でなくても、抗原検査の結果で判断可能となり、法人で用意された抗原検査キットは効果を発揮しました。発熱後の利用再開、勤務の再開において、抗原検査を実施できたことにより、陰性を確認した上で、感染予防を実施し、事業所でのクラスターなどを引き起こすことなく過ごすことができます。ご家庭でも体調管理にご協力いただき、体調不良の際には、通所前にご相談の連絡を頂いたり、早めの受け入れをして頂いたりなどし、新型コロナだけでなく、インフルエンザなどの感染症が事業所で蔓延することはありませんでした。

## ■災害対応・事故対策

避難訓練を2回実施しました。第2回の訓練時に、今年度は消防署も立ち合いし、直接、消防からの避難時の対応、火災だけではなく、近年、多発している災害についても講話を頂いています。地震想定での避難や大雨による洪水が起きた時の避難についても訓練と合わせて、学ぶ時間を設けていま

す。同じ場での訓練ですが、新たな気付きのある避難として継続して行なっています。

#### ■年間行事

年度内に実施した法人事業所合同の行事に関しては法人の事業報告参照。

#### ■諸会議

- ・法人全体会議・・・定例で月1回実施。会議はオンライン会議にて実施。
- ・個別支援計画策定会議・・・利用者の個別支援計画作成時に1ケースごとに実施。個別支援計画原案をもとに支援計画の支援内容等について検討しました。利用者さんにわかり易く提示できるようにスタッフで議論し、作成に努めています。
- ・ケース会議・・・利用者について担当より報告し、事例検討を実施。支援方針を立案、共有しています。

#### ■健康管理

今年度は、新型コロナ感染状況を踏まえながら、8月に健康診断を実施しています。

平均年齢が40歳に近付いてきていることもあり、健診結果による必要な医療受診は勿論、要観察についてもご家庭にも協力を得ながら、日頃からの生活習慣や食事の摂取量についても気を配るようにしています。

#### ■工賃支払い状況

就労継続支援事業B型

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数	16	16	16	16	16	16
総支給額	447,600	411,400	412,700	474,700	413,700	430,100
平均額	27,975	25,713	25,794	29,669	25,856	26,881

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	16	16	16	16	16	16	192
総支給額	461,800	447,700	1,098,100	442,200	392,800	583,400	6,016,200
平均額	28,863	27,981	68,631	27,638	24,550	36,463	<b>38,565</b>

□生活介護事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数	5	5	5	5	5	5
総支給額	113,500	94,900	96,600	109,800	97,200	90,000
平均額	22,700	18,980	19,320	21,960	19,440	18,000

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	4	4	4	4	4	4	54
総支給額	90,300	95,200	269,000	100,400	89,800	150,500	1,397,200
平均額	22,575	23,800	67,250	25,100	22,450	37,625	<b>30,640</b>

□事業所全体の平均工賃月額 ¥ 36,772 / 月 (平均 20.5名)

5. 課題

生産活動を実施継続していく中で、社会状況の変化に合わせていくことはとても大変なことです。しかも、障がいのある方たちを支援しながらの生産活動となれば尚のことです。利用者さんの工賃を確保するために必要な売上を目指すことと障がいのある方たちへの支援のバランスを取ることは我々の大きな課題です。これまで利用者さんの昼食づくりを生産活動のベースとしながら、外部へ販売できる弁当製造を行なっておりました。しかし、物価の高騰、人材不足の中での配達は工賃向上への影響を与えますし、利用者支援にも影響を及ぼします。今後は、法人内の利用者さんへの食事提供を行ないつつ、外部のお客様に必要としてもらえる商品開発を「冷凍食品製造業」の分野で見出し、生産活動を確保して支援と生産活動のバランスを取っていくことを考えています。障がいのある方たちが作った商品を買って求められ、障がいのある方たちの所得の補填として十分なものを得ることができるよう、今後も事業所として取り組みをニーズに沿わせながら進められる工夫をして参ります。

## 就労事業の報告

### ■事業班名 てのひら

#### 1. 取組みの概要

今年度も製造販売事業班として、おにぎり・お弁当の製造販売、利用者昼食提供に取り組みました。今年は、コロナ前に大量注文をいただいていたお客様からもご注文を頂いたり、イベント先で食べられるおにぎりの注文も戻ってきました。



すべてのご注文にお応えできたわけではありませんが、みんなで製造できる量を調整しながら受注していきました。大きな柱になった販売先は、法人内の利用者さんの食事製造でした。安定した仕事を確保でき、召し上がった率直な意見を頂くこともできています。



新メニュー デミンバーグ弁当



オーダー弁当



あかるいどう弁当

#### 2. 成果

今年度は新型コロナが感染症法で5類となったことを受け、各種行事・イベント等、皆さんが集まるイベントが少しずつ開催されるようになってきました。お弁当の注文は、昨年度と比較すると少しばかり回復の兆しが見えてきていましたが、急激な回復というような状況ではありませんでした。しかし、昨年度から進めていた個々のお客様への弁当製造と法人内の食事提供を行なうことで、安定した製造量を確保でき、年間の売上もコロナ以前と変わらない売上を確保することができています。作業環境の変化も少なく、安定した流れで作業を行なえる1年となりました。

肉巻きおにぎりも冷凍食品として、店舗での対面販売の卸売りなど前年度

から行なっている販売形式でお客様に手に取っていただく機会を少しずつ  
拡げること努めた1年となりました。市内の高校と商品開発をさせていただ  
く機会も得、商品開発に必要な地域での繋がりや商品に対する情報などを  
学ばせていただきました。今後の冷凍食品製造業の商品開発に繋げて参りま  
す。

### 3. 課題

利用者さんの生産活動の作業量の調整は、毎年の課題となります。今年度  
は、コロナ明けという昨年度のコロナ禍とも違う社会状況の中、お弁当の注  
文や昼食提供の製造量を利用者さんの作業として行なえる範囲で確保する  
ことはとても予想しづらい状況でした。地域の活動としても毎年開催して  
いたお祭りや大会など実施する決断は、前例の状況がない中、開催規模を限  
定してみたり、コロナ前に一気に戻してみたり、その不安定な開催状況から  
の弁当注文への対応は全てにお応えすることができず、難しい対応でした。  
それでも、できることに取り組み、今年度を食品事故なく終えることができ  
ました。今後も生産活動の製造量の確保については、安定的に製造できる量  
を維持できるような方法を見出していくことが課題となります。

#### ■ 事業班名 まごころ

##### 1. 取組みの概要

下請加工事業班として、自動販売機の管理の実施。

今年度は、農福連携事業として、JA 岩見沢様の倉庫にて、ひまわり出荷用  
の箱折を経験させてもらうことができました。



##### 2. 成果

自動販売機の売上手数料は、少ないながら毎月安定して得られています。  
今年度、回数は限られたものでしたが、農福連携事業として、7名の利用者  
さんが戸外に出での作業に参加することができました。新しい仕事は皆さん

のモチベーションを上げることができ、箱折作業から戻ってきた後も通常の作業に向き合う姿勢にも良い影響を与えていました。

### 3. 課題

今年度、下請け作業として行なわせていただいた箱折作業のように利用者さんの作業をする環境を時折、変化させることも大切であることを感じました。食品製造を中心に作業をしていると購入される方は変わっても製造する場には変化がありません。様々な経験をしながら、現在の環境へフィードバックさせることは利用者さんの作業への意欲向上においても必要なことであると感じました。次年度も機会があれば参加したいと感じています。

#### ■ データ

- |    |        |    |            |       |            |
|----|--------|----|------------|-------|------------|
| 1. | 製造販売事業 | 売上 | 2 3 4 5 万円 | 工賃還元額 | : 7 2 5 万円 |
| 2. | 下請加工事業 | 売上 | 1 9 万円     | 工賃還元額 | : 1 6 万円   |

## 令和5年度 あかるいどう 事業報告

### 1. 令和5年度事業の総括

令和5年度は、昨年度までの規制された生活や活動から、コロナが5類に類型移行されたことでコロナ前の生活に少しでも戻れるよう模索した1年だったように感じています。

また、昨年度の7月から新たな事業所で活動させていただき、一冬過ごしたことで、事業所の建物管理や、電気代などの費用面についても模索した1年でありました。

利用状況では、5月に男性1名が退所され、同じ時期に女性の方1名の受け入れがありました。また、5月にコロナの規制が緩和されたことで、高等養護学校の実習受け入れについて多数希望があったことで、利用者さん皆さんも、自分の後輩がくると大変喜ばれていました。余暇の時間に写生会なども行ない、大変楽しまれておりました。しかし、中には、通所の難しい方もいらっしゃり、ご家族とも話し合いをおこないましたが、定期的な通所には結びつけることはできませんでした。

今年度、新たな楽しみの一つとして毎月誕生日会や、季節ごとのイベントを、行ないました。毎月利用者と職員と一緒に会場を飾ったり、設営を行ないながら、楽しんで過ごした1年間でもありました。

### 2. 実施事業

令和5年4月～

生活介護事業 定員20名 現員21名

### 3. 令和5年度の利用状況

#### ■生活介護事業所単独型（4月～定員20名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	利用率
実人数	21	21	21	20	21	21	20	21	20	21	20	20	21	79.8%
開所 日数	24	24	26	25	24	24	25	24	24	23	23	25	291	
延利用 回数	380	394	392	387	384	381	403	383	393	379	374	395	4,645	

平均実利用数 20.6名（小数点第2位以下切り上げ）

5月末に男性1名が、他事業所に移りたいと希望され「あかるいどう」を退所されています。同じ頃、女性1名が、新たに利用希望があり受け入れを行なっています。

#### 4. 取組みの概要

□事業所内での生産活動（取組みの詳細は就労事業報告参照）

##### ・製造販売事業

今年度、クイリングの技法を用いて岩見沢のご当地キャラ「いわみちゃん」のキーホルダーを製造しました。岩見沢観光協会の方と何度も打ち合わせと調整を行ない少しでも「いわみちゃん」に近づけるように制作し空知の風の地域交流際と、あかるいどうの事業所で販売しました。また、岩見沢市内のパン屋さん（OHANA）からクイリングの作品を置いてみないかとお話があり、一部のクイリング作品を試験的に置かせてもらっています。

##### ・受注作業

今年度、クイリングの技法を用いて花かごを中心に様々なクイリング作品を手掛けてきました。思った以上の出来栄えになり、たくさんの注文をいただき販売しました。

また、今年度「しめ飾り」ではなくコレクションケースを使用した置き型の「正月飾り」の製造と、フォトフレームを使った「正月飾り」を製造し、あかるいどうのご家族と、外部に向けて販売しました。昨年度の経験を活かし、製造工程を細かく分けながら一人でも多くの利用者が取り組めるように支援を実施、どちらも数に限りがありましたが、すべて完売することができました。



結婚披露宴で飾られた花かご



「いわみちゃん」モチーフ

##### ・下請加工事業

4月より新たにに取り組む作業の確保に努め、企業からお菓子袋のシール貼りや箱折作業などの仕事をいただき取り組むことができました。

シール貼りは、決まった利用者さんしか取り組むことはできませんが、他にもクラッカーの箱づめ、ギフトボックスの組み立てなどに取り組むことで、一定の利用者以外でも、作業に参加し携わることができました。

- ・アクアリウム事業

今年度は、昨年同様に外部の店舗と「あかるいどう」との水槽メンテナンスと、水槽のバックボートの絵画も作成させて頂きました。始めたばかりで、デザインや色の塗り方など調整が難しいこともありますが、少しずつ進めていく事が出来ました。しかし、先方の都合により、年度途中ではありましたが契約終了となりました。現在は、あかるいどう内で飼育している金魚の水槽の清掃作業をしています。

- ・アート活動

今年度、各事業所のレンタル絵画については、中止とし内部のやり取りではなく、外部の方に知ってもらえるようアート活動に取り組んできました。アートを広めていくことはなかなか難しいですが、外の方に見てもらえるよう、あかるいどう館内から外に向けて展示することで、地域の方などが、「楽しみにしている」「どんなことをしているのか見せてほしい」と立ち寄ってみていかれる方もいました。また、たくさんではないのですが、アート作品の受注があり、販売に結び付けることができました。

今後も、利用者さんの特技を生かした技法で制作し、一人ひとりが好んだ創作内容や得意とする技法を選択することで、個々の才能が素晴らしい作品になるようにしていきたいです。

今年度、アートに関するイベントに沢山参加させていただきました。

「みんなアート」「北海道障がい者アート展」他事業所でのギャラリー展などに応募させて頂き自分の作品が選出されることで自信が芽生え、皆さんの創作意欲や創作技術の向上が見られました。また、展示会に飾られた自分たちの作品を見学するために外出する楽しみも増えました。

## □楽しみを中心とした活動や運動

- ・活動支援

作業活動のほか、映画鑑賞や、ミニゲーム、季節感を出したオーナメント制作など様々な幅を広げた活動支援を行なっています。ラジオ体操や散歩など機能維持や、体力維持に向けた活動も少しずつですが進めています。

## ■権利擁護について

権利擁護、苦情解決委員会の活動として、年度初めに北海道知的障がい福祉協会にて行なわれている「権利侵害ゼロの誓い」の署名を実施。日本知的障害者福祉協会の倫理綱領をスタッフで読み合わせを実施し意識の向上を図りました。

今年度も、委員会を対面で行うことはできませんでしたが、職員会議を通

して、「権利擁護」についてフィードバック研修を実施いたしました。また、パート職員についてもガイドブックを使用した学習の機会や、虐待のニュースや情報があった際は、職員全体に朝会等で周知し、常に自分の支援の振り返りを行なっています。

#### ■ 苦情解決委員会

苦情受付については、令和5年度、受付件数は2件となっています。相談受付箱による提出はありませんでしたが、口頭にて、相談を都度受け付けています。内容としては、自分と他の利用者さんとの職員のかかわり方が違うとの訴えに対し、歩行誘導の際に転倒防止のための支援を行なうために、一人一人支援に違いがあることをお話しています。

また、職員の対応について、そっけなさを感じているとの訴えについては、該当の職員に対し、会話の受け答えに対し気を付けてほしいことを伝えています。訴えができない方についても、都度、話をする時間を作り作業や生活している中で感じる疑問や悩み等がくみ取れるよう対応しています。

#### ■ 感染症対策

令和5年度は、コロナウイルス感染予防の対策を継続して取り組んでいます。類型が移行されたことで、病院での検査が難しくなりましたが、抗原検査の結果で判断が可能となり法人で用意したものや、薬局での購入が可能となったことで、事業所内の集団感染を引き起こすことはありませんでした。

利用者さん本人さんや職員も含めご家族の方がコロナ感染の陽性と判定された方が数名いましたが、ご家庭での体調管理にご協力いただき、体調不良の際には、通所の前にご連絡を頂いたり、早退の受け入れにもご協力をいただきました。また、インフルエンザや、胃腸炎なども流行いたしましたが、特に蔓延することはありませんでした。

#### ■ 災害対応・事故

避難訓練を2回実施しています。秋の避難訓練の際には、消防署に立ち合いをお願いしています。非常災害・事故対策では、建物が国道沿いにある為、避難経路を確認し道路に飛び出さないように利用者さんの行動に注意して避難を実施しています。また、災害時の訓練については、災害時の対応、避難経路、避難方法、避難先等を再度確認する機会としました。

## ■年間行事

年度内に実施した法人事業所合同の行事に関しては法人の事業報告書参照。その他あかるいどうで参加した展示会等について

- ・ 8月～「ハート&アート」
- ・ 9月～「みんなあ〜と」
- ・ 11月～2月「アール・ブリュットそらかぜ展」
- ・ 3月～「カクカクシカジカ～みんなのカタチ～展」
- ・ 3月～「北海道障がい者のアート」

## ■諸会議

- ・ 法人全体会議・・・定例で月1回実施。市民会館等を利用し、職員全員参加での会議を再開しています。
- ・ 個別支援計画策定会議・・・個別支援計画作成時に1ケースごとに実施。計画原案をもとに支援内容等について検討しました。利用者さんにわかり易く提示できるようにスタッフで議論しています。
- ・ ケース会議・・・その日にあったケースを各担当から報告し、必要に応じて事例検討を行ない、支援方針を立案しています。

## ■健康管理

今年度は、7月に健康診断を実施しています。年々と、年齢を重ねていき、中には体調不良を伝えられない方もいるため、定期的な健康診断の結果が重要となり、ご家庭にも協力をいただきながら一人一人の体調面に配慮しています。また、コロナ感染のほかに、インフルエンザや、ウイルス性胃腸炎が流行したため、館内の消毒や日々の検温、体調管理を徹底しました。

## 5. 課題

アート活動や、創作活動に力を入れ一人でも多くの方に見ていただこうと事業所内の工夫を行なってきましたが、昨年と比べ周りの人に知っていただく機会は増えましたが、まだまだ、レンタル事業や、販売に結び付けることはできませんでした。また、年齢や、障がいの特性の違いから、人間関係がうまくいかず、いろんな課題に直面することがあり、利用者さんの訴えや相談をしっかりと聞き取り、毎日の活動の中で少しずつ何ができるのか、通所の少ない利用者さんについてどのような声掛けや環境を作れば、利用者さんの安定した通所や、楽しみの提供ができるのか日々考えています。

## 活動報告

### 1. 取組みの概要

#### ■事業班名 さんさん

「さんさん」では、主に企業からの下請けとして、箱折りや箱詰め、シール貼り、カレンダー巻きなどの作業に取り組みました。事業所内では創作活動、館内清掃、水槽のメンテナンス作業に取り組みました。

創作活動では、館内のオーナメント制作や大きな窓を利用したアート活動のPRなどに取り組みました。利用者全員がアート制作に携われるわけではない為、個々に持っている能力や技術を活かしながら、館内や外に向けての展示を行いました。地域の方や外部の方にも、どのようにしたら楽しんで見ていただけるかを工夫しながら、利用者さん一人一人が作品を作り上げていきました。

また、今年度初めての挑戦でしたが、園芸に取り組みました。はじめは、室内の温度調整ができず、なかなか芽が出なかったり、芽が出ても、伸びすぎてしまったりとうまくいきませんでした。それでもあきらめずに日の当たるときには外に出し、寒くなったら室内に入れるなどお世話して、沢山ではありませんでしたが、お花を咲かせることができました。摘み取った花はきれいに洗いドライフラワーとしてアート制作に再利用することが出来ました。

また、生活支援の一部として身体機能の維持の為、1日2回ラジオ体操を取り入れ、天気がよいときは近くの公園などに散歩に行き、創作に使えるような木の葉や小枝を拾い想像力を高め、日々皆さんと一緒に楽しんで活動に取り組みました。



活動の様子

展示会出展に向けた作品作りなど、アート制作活動に取り組みました。様々な画材や技法を使いながら個人作品から共同制作へと、個々のアイデアや意見も取り入れながら楽しく作り上げ、展示会に出展しました。また、今年は、岩見沢アール・ブリュットギャラリーにて、他事業所の作家さんと共同で2か月間にわたり展示会を行いました。あかるいどうからは、3名の利用者さんが選ばれ参加しています。今年度も、2024年オリジナルカレンダーを制作販売し、お世話になった施設や役員の皆さんへ、法人からの挨拶としてお渡ししています。



事業所内の環境整備として、作業場、トイレの清掃、施設周りのごみ拾いや除草作業等を行ない、皆さんが過ごしやすい環境作りを目指し、取り組みました。

水槽のメンテナンスについては、昨年度同様に外部との契約で「わくわくどう」と共同で作業を進めていきました。あかるいどうとしては、バックボードの絵を請け負い、取り組んできましたが、10月で終了となりました。



散歩や余暇活動の様子

#### ■事業班名 にこにこ

製造販売としては、今年アートと紙工芸品（クイリング）を用いた製造を行いました。上手に作れるか不安を抱えながらのスタートでしたが、利用者さん一人一人の得意なことやできることを職員と一緒に考え、細かく工程を分けることで、多くの方が取り組むことができました。利用者さんご家族、職員向けに販売を行ないたくさんの方に購入していただきました。

## 2. 成果

今年度は、園芸、クイリング制作、毎月のイベント企画など、新たな活動を取り入れた年度となりました。新しいことばかりではありましたが、皆さんが安定的に通所できるよう日々対応してきました。今年度は、アートに関する見学依頼や、展示会出展の依頼など、作品が人の目に触れる機会が多くありました。今年度は、岩見沢アール・ブリュットギャラリーにおいて、あかるいどう単体での展示会はありませんでしたが、他事業所との共同展示会が開催されたことで、事業所同士のつながりもできました。その関係先から新たに展示会の依頼があり、利用者さんのモチベーションも上がり、1作品ごとの製作に対し楽しく取り掛かる事が出来ました。

## 3. 課題

利用者さんの個々の特性に応じた作業スペースの確保や作業内容、パーテーションなどを使用した環境整備、利用者さんそれぞれが作業しやすい治具、視覚情報の整備が、今後も必要だと感じています。また、アート作品を一人でも多くの方に知っていただく為、事業所や展示会などより利用者さんのもつ感性豊かなアートの魅力を広げられる様、啓発活動により力を入れていく事が大切だと感じています。また、重度高齢化に向け、体力維持の為の活動や、余暇支援の充実に向けて一人ひとりの利用者さんの生活や、人生が豊かになるような支援を目指していけたらと思います。

## 令和5年度 わくわくどう 事業報告

### 1. 令和5年度事業の総括

令和5年度は、利用者14名でスタートとなりました。

引き続き日常的な感染症予防や対応を行ないながら活動へ取り組み、ご家庭のご理解と協力もいただきながら終える事ができました。

今年度は、施設外就労で行なっていた花農家作業が令和4年12月で契約終了となったため、その後の作業創出が大きな課題となっておりますが、令和5年4月末に「介護老人保健施設ゆあみーる」と業務委託契約を結び、5名の利用者さんが新たな作業へ挑戦を開始しました。実働5時間で、老人施設の厨房にて、使用後の食器や調理器具等の洗浄作業に取り組み始め、洗浄作業効率向上により、ごはん、お味噌汁の盛付作業も行なえています。

また、それぞれの作業環境に付随する道具や作業着など必要物品の購入、作業手順等の視覚情報を作成し利用者さんが、より良い環境で取り組めるように整備を行ないました。

活動では、そらかぜ食堂は5年間の随意契約として契約を結び4年目の年となりました。食堂運営については原材料や建物使用料・水道光熱費の高騰による影響への対策と対応、安定した集客数と期間限定メニュー等を開発し、収入確保の対策等に取り組みました。

生産活動収入としては様々な影響がありましたが、全体を通して取り組みの成果や働く経験を得る機会にもなり、それぞれの利用者さんの遣り甲斐と達成感を得ながら工賃へと繋がったと感じています。

### 2. 実施事業

■就労継続支援事業B型 定員20名 現員14名

### 3. 令和5年度の利用状況

■わくわくどう全体（定員20名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	利用率
実人数	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	60.0%
開所日数	24	24	26	25	26	24	25	24	24	23	23	25	293	
延利用回数	292	296	306	302	310	291	310	284	288	276	276	303	3,534	

平均実利用数12.1名（小数点第2位以下切り上げ）

定員数を満たしていないため、利用率は低くなっています。

■就労継続支援事業 B 型（定員 20 名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	利用率
実人数	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	60.0%
開所日数	24	24	26	25	26	24	25	24	24	23	23	25	293	
延利用回数	292	296	306	302	310	291	310	284	288	276	276	303	3,534	

平均実利用数 12.0名（小数点第2位以下切り上げ）

4. 取組みの概要

■利用者支援

□事業所内での生産活動

・「そらかぜ食堂」の運営

空知総合振興局、道職員の皆様を中心に食事の提供を行なっています。少しずつ一般のお客様も来店される傾向が見られており、以前よりも市内へ周知度が増してきていると実感しております。

道職員の在宅テレワークなどの影響による集客数の減少など安定した収入確保が厳しい状況がありましたが、原材料等の高騰もあり提供価格の見直しを進め、振興局総務課とも協議を行ない全ての商品の値上げを実施しています。値上げ後も客離れなど客数が落ち込む様子もなく推移していました。

定食メニューも売れ筋の固定化と、お客様からの要望や趣向を取り入れた新メニューの入替え、毎月の「期間限定メニュー」の新商品開発や試作を重ね1人でも沢山の方に利用していただけるように検討を重ねました。

利用者さんの作業面では調理技術や接客技術の向上が見られ、それぞれ役割を担いながら協力して取り組みを進めています。

□施設外就労支援

・「介護老人保健施設ゆあみーる」での施設外就労作業

老人介護施設で働くにあたり、感染症等の検査や、体調管理についても考える機会にもなりました。決められた時間内に作業終了させなくてはならないので素早さ、正確さが求められ、大変な作業ですが作業工程など覚える事も早く、担う役割も徐々に増えていく事で成長し、やりがいや達成感を得られているのではないかと感じています。

#### □自主事業・印刷プリント作業

・今年度も沢山の注文を頂き、利用者さんも作業工程を覚え、プリントの位置合わせやプレス作業など、難しかった工程も向上して生産力を高めることができ、売上に結びついています。プリント後の完成した製品の洗濯、乾燥機でのテストなど実証テストを行ない取り扱いの注意点の再検証と商品の質の向上に取り組みました。

#### ■権利擁護

そらかぜ食堂7名、ゆあみーる5名、館内作業2名と、分かれている事もあり、それぞれの現場で少人数での対応が行なえています。会議での報告などから話合い支援中の声掛け、働きかけなど改めて権利擁護の視点から一つひとつの支援について考え、特性による個別な関わり方、課題を共有するなど情報共有の機会にもなっています。

#### ■苦情解決

今年度の苦情・要望受付は0件でした。

日々、利用者さんの悩みや不安、相談など聞き取り、話をする機会を設けています。特に利用者さん本人の作業へのスキルアップや、他利用者さんとの関係性についての相談が、日常での会話から聞こえてくる事もある為、その都度対応と見守りを行なっています。訴えることが苦手な利用者さんもあり、日々の表情や行動の変化に配慮し、親御さんとも情報交換を行ないながら、利用者さん自身ご家族が安心して利用できるための環境作りを今後も行ないたいと考えています。

#### ■感染症対策

食堂作業、ゆあみーる作業に従事する利用者及び職員の全員が毎月、検便検査を実施し、更に体調管理と衛生面に配慮しています。加えて、新型コロナウイルスの対策を重点的に行なっています。毎朝の検温、館内の消毒等も定期的に時間を決めて対応を行ない予防に努めました。ご家族とも連絡を取り合い、健康状態の把握や交通機関の利用時間変更や送迎対応なども協力を行ないながら進めました。

実際に体調が悪くなった際は、通所前にご家庭と連絡を取り合い、実施機関の福祉課とも連携し、感染予防に必要な在宅支援での対応を承認して頂くなどの調整も行ないました。

また、ゆあみーるに関しては「胃腸炎」と診断された際にも体調回復後にノロウイルス検査を実施し陰性確認後に作業復帰しております。

### ■災害対応・事故対策

今年度も、感染症を考慮し消防立ち合いの避難訓練は行なえず、職員のみ  
の自主訓練を2回実施しています。同建物を利用されている業者との

合同避難訓練は実施できませんでしたが、地震や火災を想定し第一発見  
時からの行動や通報マニュアルの確認、避難誘導など、実戦想定で基礎的な  
訓練を実施しています。また実際に避難はしごを使用する想定で2階窓枠へ  
の設置方法など避難はしごの使い方も確認しています。様々な想定訓練や防  
災対策と同時に、作業活動先での避難方法なども職員間で共有する機会とし  
ました。

### ■年間行事

年度内に実施した法人事業所合同の行事に関しては法人の事業報告参照。

### ■諸会議

- ・法人全体会議・・・定例で月1回実施。
- ・個別支援計画策定会議・・・個別支援計画作成時に1ケースごとに実施。計画  
原案をもとに支援内容等について検討しました。  
利用者さんにわかり易く提示できるようにスタッ  
ッフで議論しています。
- ・ケース会議・・・その日にあったケースを各担当から報告し、必要に  
応じて事例検討を行ない、支援方針を立案してい  
ます。

### ■健康管理

今年度は、新型コロナ感染対策を踏まえながら、7月に実施しています。

■工賃支払い状況

□就労継続支援事業B型

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数	14	14	14	14	14	14
総支給額	402,800	352,100	372,400	449,500	413,700	405,900
平均額	28,771	25,150	26,600	32,107	29,550	28,993

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	14	14	14	14	14	14	168
総支給額	420,200	410,100	772,700	394,900	386,500	626,300	5,407,100
平均額	30,014	29,293	55,193	28,207	27,607	44,736	<b>37,239</b>

□事業所全体の平均工賃月額 ¥ 37, 239 / 月 (平均14名)

5. 課題

今年度も、様々な物価の高騰が続いており、食堂運営の収入や活動で影響を受けております。今後も段階的に価格を見直し、料金改定を行なうことが必要と感じています。

また施設外就労の利用者さんが、毎日、活動が出来る環境と、役割を担いながら工賃向上にも繋がり、やりがいを感じてもらえる場を維持することが、とても重要であると感じております。

印刷プリント事業の増産体制や、作業の確保も同様に進めながら、利用者さんが楽しみや達成感を感じてもらえるように支援をしていきたいと考えています。

取り組む作業種によっては本人が辛い体験と感じてしまい、モチベーションが下がりがちになる事もあるかもしれません。息抜きや楽しみを提供していく事で、モチベーションを上げ、チャンスがあれば挑戦する、意欲の向上にも結び付けられるような関わりと支援をしていきたいと考えています。

## 就労事業の報告

### ■事業班名：そらかぜ食堂

#### 1. 取組みの概要

空知総合振興局 5F 食堂の運営も 9 年間で終わり 10 年目を迎えました。食品衛生管理を日々時間毎に行い、これまで食品事故も無く営業を続けてきました。しかし食材価格高騰は今もなお続いており、収益に課題がありますが、メニューの工夫と味付け彩り良く、今後も「安くて」「早くて」「美味しい」メニューを安全に衛生的に提供できる様に取り組まを行いました。



エゾシカ DE ジンギスカン



北海道産ホタテフライ定食



北海道産ホタテスープカレー

#### 2. 成果

令和 5 年度は、①中国による日本産水産物の禁輸措置により、北海道産のホタテ消費拡大の取り組みを率先して行っています。食材は高価格ですが、北海道噴火湾産を使用し、メニューも工夫して 5 回に渡って提供しました。②そらちエゾシカフェアに参加しました。「エゾシカ DE ジンギスカン」を日 50 食限定で 3 回行ない、計 150 食の販売提供を行いました。急増したエゾシカの消費拡大を目的として、エゾシカ肉を美味しく食べて自然を守ろう！の趣旨でした。

令和 5 年度は、社会情勢や自然環境の取り組みを行なうことができました。

#### 3. 課題

令和 4 年度にメニュー価格の見直しをしましたが、食材の価格高騰は続いており、収益の増額には至っておりませんが、食品ロスの削減を継続し、利用者工賃還元額の上乗せに努めていきたいと考えています。

#### 4. データ

利用者実人数：7名  
営業開店日数：243日  
年間来客数：19,807人  
月平均来客数：1,650人  
日平均来客数：81人  
生産活動売上：1094万円  
工賃還元額：255万円

#### 令和5年度年間ランキング

1位～B定食	(24.0%)
2位～A定食	(22.8%)
3位～サラダ小鉢	(7.9%)
4位～おかず小鉢	(7.9%)
5位～カツカレー	(3.9%)
6位～カレーライス	(3.6%)
7位～特盛ざるそば	(2.9%)
8位～鍋焼うどん	(1.8%)
9位～げそ丼	(1.5%)
10位～醤油ラーメン	(1.3%)

(%はオーダーに占める割合)

#### ■事業班名：施設外就労

##### 1. 取組みの概要

老人保健施設ゆあみーるで、食器洗浄作業行ないました。施設の利用者さんが使用した食器を次回の食事時にも使用出来るようにするため、決められた時間内に洗い終え、乾燥庫へ収納し、乾燥完了後は所定の位置に片づけています。また盛付作業では、食する利用者さんによって、量が違うため、正確に計量しお椀の縁にごはん粒がつかないよう綺麗に仕上げています。始めは失敗も多くありましたが、徐々に上達し利用者さん同士で作業を分担しながら効率良く進める事が出来ました。

##### 2. 成果

素早さ、正確さを要する作業ですが、利用者さん一人ひとりが新たな作業に挑戦した事で、経験や自信、やりがいへと繋がっていたように思えます。

作業するにあたり、健康管理も重要な要素なため、生活習慣も改善し、健康的に過ごす事が出来ていました。

##### 3. 課題

通年を通して、安定した活動を行なえる作業の確保が出来ました。

それに伴い、体力が必要な作業でもあるため、1週間やり遂げられるモチベーションの維持のため、息抜きや楽しみを提供していただければ良いと考えられています。

#### 4. データ

利用者実人数：5名

施設外就労収入：187万円 工賃還元額：187万円

### ■事業班名：自主事業班（印刷製造作業）

#### 1. 取組みの概要

印刷製造事業も4年目となり、一人ひとりが担う役割も増えてきています。受注した様々なロゴのデザインを作成し、Tシャツやポロシャツ、トートバック等の商品を作製しました。以前は難しかったプリントロゴの配置合わせも治具を使用して出来るようになり、プレス工程、包装なども効率良く進めることが出来ています。利用者さんが担う役割も固定化してきており、それぞれが、やりがいや達成感を感じながら取り組んでいます。

#### 2. 成果

全国の繋がりのある事業所や市内の企業、団体等より沢山の注文を頂き、商品の作製から出荷準備に至るまでの工程において、難しい作業にも挑戦し、利用者さんの新たなスキルの習得が出来ています。



ラバーのカス取り作業



ラバーの圧着作業



受注作製した商品

#### 3. 課題

夏から秋までイベントや行事など盛んな時期には注文が多くありますが、冬期間は注文も減ってしまう傾向があります。作業確保と収入面からも、安定した製造体制を整えるために、様々なオリジナル商品の考案や増産が必要と考えています。そのためには営業を計画的に進め受注を獲得することと、オリジナル商品の販売を進めて取り組んでいきたいと思えます。

#### 4. データ

生産活動売上：219万円 工賃還元額：100万円

## 令和5年度 歩～夢 事業報告

### 1. 令和5年度事業の総括

令和5年度は、1名の新規利用者を迎え現員は37名となりました。これまで大きな制限をかけざるを得なかった感染症の類型移行があったことで、注意を払いながらも、以前の生活に近づけるように考えを巡らせた1年となりました。また、宿泊体験には制限をかけずに受け入れを再開し、多くのニーズに応えることができました。特に女性の利用が多く、利用希望が立て込んで体験実施の隙間が無いほどの月もありました。7月には、これまで利用者2名が住まいしていた「ハラダハイツ」を閉所し、近年、入居や宿泊体験のニーズが高まっている女性の住居を開設しました。名称は、夏に開設したことと急激に変化する時代の波に乗っていこう！との意味合いから「波のり荘」になりました。また、経年劣化による住居の更新を視野に入れ、新しい物件の取得・開設への取り組みや、重度高齢化に対応した住居のための土地の取得など、未来へ向かって一歩ずつ確実に歩みを進めました。

利用者さんの健康を維持し、守っていくことが地域生活支援において重要なことと認識していますが、今年度は、大腸や胆嚢に重い病気が見つかり、入院・手術などの治療を受けた方が数名おられました。市の特定検診等を利用しながら健康管理に留意してきましたが、病気を未然に防ぐことや健康を守ることの難しさを痛感しました。

余暇支援では、登山や買い物などの外出支援等、個別に対応した支援に加え、木下大サーカスの見学や4年ぶりの旅行を実施することが出来ました。大勢の利用者が参加し大型バスに乗って観光も楽しんだ思い出深い旅行となりました。

就労支援では、退職希望のあった利用者や企業の事情でやむを得ず転職になった利用者に対する支援に取り組みました。また、新しく一般企業へ雇用となった方へは、履歴書作成から面接、業務導入等への支援に取り組みました。生活とは、常に社会と繋がっていくことであり、職員もその橋渡し役をしっかりと果たす為のスキルアップができた1年にもなりました。



みんな集合！歩〜夢旅行 in 十勝！



スタッフ余興で登場した大スターとパチリ！

## 2. 実施事業

共同生活援助事業所（合計定員 42 名）※宿泊体験 5 名含む

春が来た荘	定員 5 名	現員 4 名	（宿泊体験 1 名）
夏色荘	定員 5 名	現員 4 名	（宿泊体験 1 名）
秋いろいろ荘	定員 4 名	現員 3 名	（宿泊体験 1 名）
コーポハラダ	定員 2 名	現員 2 名	
桜なごみ荘	定員 4 名	現員 4 名	
もみじ色づき荘	定員 5 名	現員 4 名	（宿泊体験 1 名）
ふきのとう	定員 3 名	現員 3 名	
みないい荘	定員 4 名	現員 4 名	
虹のかけはし荘	定員 5 名	現員 5 名	
波のり荘	定員 5 名	現員 4 名	（宿泊体験 1 名）

春が来た荘



秋いろいろ荘



コーポハラダ



夏色荘



桜なごみ荘



もみじ色づき荘



ふきのとう



みないい荘



虹のかけはし荘



波のり荘



### 3. 令和5年度の利用状況

※定員42名（宿泊体験5名：4月～3月）※年間366日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	36	36	36	36	36	36	36	36	36	37	37	37	
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
延利用回数	1,069	1,068	1,074	1,102	1,067	1,071	1,141	1,100	1,098	1,098	1,052	1,159	13,099

※平均実利用者数 35.8名（小数点第2位以下切り上げ）

※令和5年4月から令和6年3月までに入居された方は男性1名でした。

※宿泊体験の受け入れを平時に戻した結果、多くの利用により実績が増えました。

※宿泊体験

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	2	4	4	4	1	7	9	6	6	4	5	7	
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
延利用回数	8	15	15	13	4	19	47	38	38	13	16	29	255

宿泊体験の利用については、入居を視野に入れた体験的利用に加え、ご家族の事情やご葬儀への参列などの緊急的な相談も受け、より多くの希望に対応してきました。体験終了当日に次の利用者を受け入れるために急いで準備をしたり、3住居同時に受け入れるための準備・寝具や家具の設置など、世話人さんを含む職員の努力の成果でもあります。

### 4. 取組みの概要

#### ■利用者支援

ウィズコロナの考え方の元、一人ひとりの生活をどのように戻していくのかケース毎に検討を重ねました。外出ひとつ取り上げても、その頻度や時間、地域や範囲、様々な希望など個別に検討する必要がありました。ご本人と相談し、できる限り希望に沿う形でルールを設定、視覚情報を用いて説明を行ないました。

支援の難しい利用者さんとその周りの利用者さんに対して、どのように対応したらよいかを様々な形で検討と実施を繰り返しました。職員との関わる時間を増やすために文字や数字のドリルに取り組んだり、ぬいぐるみセラピーに活路を見出そうと大きなぬいぐるみを選んでもらって居室に置いたり、何か満足感を得てもらおうとアスレチック公園へ出かけたこともありました。気分が大きく上下する方には、相談に乗りながら職員と一緒に買い物する機会を増やしたり、居室で観葉植物を育ててもらおうなど、様々な角度からの支援を試みました。その他、課題解決のために個別に面談を実施することも度々ありましたが、そのすべてが解決に至ったとは言えず、支援の難しさを感じています。ただ、私たちはその先にある心の成長を信じて、あきらめずに支援していく大切さを職員と確認しながら対応を続けています。



外出のお土産どうぞ！



お正月鍋大会！



お正月鍋大会②

## 仲間と暮らすって楽しい♪

### ■権利擁護

職員同士お互いに忌憚なく発言できる雰囲気をつくることを心掛け、日頃から利用者さんに対する言葉の使い方・接遇・支援の在り方についての考え方や意見に触れる機会を持ちました。日中事業所との連絡帳で生活の様子を知らせる際の言葉使いや表現の仕方を見つめ直し、日ごろの言葉・表現から気を配るように取り組みました。また、職員会議で権利擁護についての内部研修を1回実施しています。

## ■苦情解決委員会

今年度、苦情の受付はありませんでした。

そのほかの事案としては、住居を飛び出してしまい市外へ無断外出をしたケースがあり、個別に相談を受けて、話し合うことで苦情には至らなかった事案と職員が未然に状況を察知して対策を講じた事例もありました。歩～夢では、職員が常駐して支援する住居と、巡回による支援の住居がありますが、巡回のみでは対応しきれず、不満に繋がった場面もあったのではないかと思います。巡回の支援に多少の限界を感じる場面も少なくありませんが、苦情や不満が少なくなるように利用者さんとの円滑なコミュニケーションと、レスポンスを速める努力の重要性を感じています。

## ■感染症対策

感染症対策はこれまで同様に、マスク着用、うがい、手洗い、消毒の声がけや住居の換気等の支援を継続して取り組んできましたが、市内のコロナ感染者が急拡大する中、就労先や外出先から感染する事案がありました。感染者が発生した二つの住居でそれぞれ対策を講じ、幸いにもクラスターには発展しませんでした。片方の住居では同居者全員に感染することとなり、感染予防の意識や理解・行動には違いがあることが分かり、感染予防の必要性を伝えていくことと同時に開かれた生活と感染予防の両立の難しさを感じました。

## ■災害対応・事故対応

各住居にて火災想定避難訓練を実施しています。火事の発見からスタートし、大声で皆に知らせる練習から、電話通報、外の安全な場所までの避難を行なっています。訓練の前後には避難するときに気を付ける点を説明しました。利用者さんからも質問や感想を聞き、訓練の大切さを伝えました。



■年間行事

令和4年度	内容
4月～令和6年3月	各住居ごとでの誕生日会を実施 教育大学運動プログラム実施（隔週）
5月3日	GW バーベキュー（たのしいどう駐車場）
5月3日～7日	GW 個別希望外出
5月20日	クリーングリーン作戦2023参加
8月11日～15日	お盆休み個別希望外出
8月20日	まなみ～る札響コンサート
9月19日～10月10日	木下サーカス見学（5回）
11月19日	フレンドカレッジ参加
11月22日～23日	歩～夢旅行 in 十勝
12月25日	クリスマスメニューで夕食
12月27日	歩～夢大忘年会
令和6年1月1日	初詣（岩見沢神社）
3月21日	地震災害避難訓練（春・秋・ハイツ・波）
3月27日	地震災害避難訓練（夏・みないい・ふき・桜・もみじ・虹）

GW 歩～夢 BBQ



木下大サーカス見学



たくさんの思い出



北広島アスレチック公園



樽前登山



まめフェス!



遠く神威岬まで



クリーングリーン大作戦



体を鍛えて・・・バスケット部!



地域の盆踊り 地域貢献

## ■諸会議

- ・法人全体会議・・・まなみ〜る等の広い会場にて月1回実施。
- ・世話人会議・・・月1回の開催は難しく、2回の開催にとどまりましたが、内1回は生活支援についてのミニ研修を実施。
- ・個別支援計画策定会議・・・個別支援計画作成時に1ケースごとに実施。計画原案をもとに支援内容等について検討しました。
- ・ケース会議・・・日々の利用者支援について検討を行ない、支援を実施しています。
- ・企業就労担当会議・・・定着支援のほか、就職・転職の支援について情報を共有して、支援の方向性を話し合っています。
- ・権利擁護担当者会議・・・感染症対策にて担当者会議を中止しています。毎月の報告書を確認し、参考資料等があれば随時配布して全員で情報の共有を行なっています。

## ■健康管理

今年度、定例の健康診断は感染状況を確認しながら7月に実施し、利用者の再検査等の対応を行なっています。今年度は、岩見沢市の特定検診に該当する利用者が10名あり、がんなどの検査項目を増やして検診を受けています。再検査となった方が多く、協力医と連携して再検査を実施しています。その中で大きな病気が見付き、入院・手術となった方が2名、その他で胆石が1名、クローン病診断が1名と皆さん入院加療となりました。コロナが明け、食生活や生活習慣についての見直しを検討しようとしていた矢先にこのような結果となりました。協力医や看護師としっかり連携し、病気の予防と早期発見に努めたいと思います。

## ■支援記録

各住居の支援日誌や日中事業所の連絡帳、業務日誌などは利用者の日々の体調や心の変化を共有するツールでもあることから、確実に記録を残し、正確に引継ぎを行なうように留意しました。また、日中活動との連携の為、連絡帳を用い

て生活の様子や体調の変化、帰省等の予定などの記載を行なっています。

ご家庭と連絡・調整は、電話やメール・連絡帳を利用し、日々様子の報告や相談をさせて頂きました。ご家庭からも様々な返答が記載されており、通院や次回帰省の日程などを職員間で周知しました。

#### ■施設整備状況

今年度は、7月に女性の住居「波のり荘」を開設し、住居の更新と入居へ向けた宿泊体験者用の居室を整備しました。更に男性住居の取得・開設を目指して物件を探し、職員がオーナーとなる住居を獲得しました。令和6年度4月の開設を目標に準備を進めました。更に、将来の重度高齢化に向けた住居建設用地の取得を進め、現歩～夢・あかるいどう駐車場に隣接する土地を購入しています。

1. 令和5年度事業の総括

岩見沢市より指定を受けて実施している日中一時支援事業「楽らく」は、三笠市、栗山町、南幌町の4市町村と今年度も委託契約をしています。5月以降、新型コロナが5類感染症に移行したため、感染対応に気をつけながら、今まで控えていた外出メニューを増やしています。参加したいメニューが再開したことで、余暇の参加を控えていた利用者さんも参加出来るようになり、余暇の充実や楽しみの提供へと繋がっています。



2. 実施事業

□日中一時支援事業定員20名（岩見沢市以外の定員は契約内容に基づく）

3. 令和5年度の利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	20	25	22	16	24	19	18	17	17	18	17	16	/
延利用回数	53	53	55	55	51	48	51	42	39	47	46	60	

土曜午後の時間を活用した余暇支援を50回年間で実施しました。

4. 取組みの概要

今年度は、人気メニューのボーリングとカラオケを再開しています。カラオケでは、自分の歌いたい曲や好きな曲を事前に選ぶ姿も見られ、とても満足そうに参加されておりました。お菓子作りは、参加者が多く、季節や旬の食材を使ったメニューを毎月工夫し、楽しみながら作っています。外出メニューでは、いちご狩りやぶどう狩りにも行くことが出来、短い時間の中ですが、気分転換や自分へのご褒美時間としての充実にも繋がるよう、様々な体験を提供しています。



いちご狩りの様子

5. 成果

人気メニューのカラオケでは、皆で盛り上がる楽しみがあり、また踊ったり、一緒に歌ったりと共有できる楽しみも充実感となっています。季節の旬を自分で採り、その場で味わえる果物狩りも、今年も数回実施できています。自然に囲まれた外で過ごす時間も、日々の環境とは異なり、特別な時間に感じられる、有意義な時間を過ごせたと思います。経験を通し、たくさんの笑顔が見られています。



カラオケの様子

いちご狩りの様子

## 6. 課題

実施出来る時間に限りがあるため、外出メニューの幅が広がっていないと感じています。感染状況が落ち着いてきたことで、イベントも増えてくると考えられますので、近隣の情報を把握し、新しい取り組みも行なえるよう工夫できたらと思っています。利用者さんの選択する楽しみが増える様、余暇の提供を今後も考えていきます。



お菓子作りの様子

制作の様子